

取扱説明書

52X Series

PLUG IN GAUGE Ø52

EURO SPEC

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書は良くお読みいただき大切に保管してください。

警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輻破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品の固定、配線処理は確実に
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- DC12V車で使用する
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。
- ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない



1. ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しないため、対応不可です。
2. 他社の故障診断コネクタを利用する製品との併用はできません。
3. 故障診断コネクタを利用するPIVOT製品との併用については、こちらをご確認ください。⇒ <http://pivotjp.com/obd/>
4. 取付場所の都合上、純正灰皿とシガライターが使用できなくなりますのでご了承ください。

内容物をご確認ください



52X-VWの特長

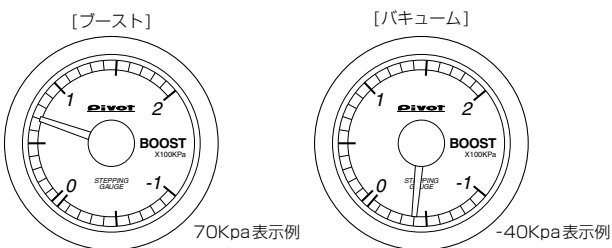
52X-VWは故障診断コネクタに差し込むだけでVW専用のCAN通信を解析し、3種類を同時表示できるメーターです。
(対応車以外は不可)

3連式 ブースト・水温・油温の3種類を3連にて同時表示	配管不要・簡単装着 故障診断コネクタに簡単装着なので配管作業が不要
LEDイルミ コントラストに優れた高輝度ホワイトLEDイルミネーション	ステッピングドライブ 高精度ステッピングモーター採用で高精度表示

各表示と用途

ブースト計 (絶対圧表示※)

- ▶表示 -100~154kPa
- ▶用途 ●ブーストチェック ●エコ走行用 [バキューム]

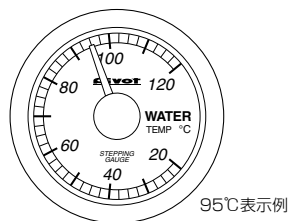


※絶対圧表示は気圧を含みますので相対圧 (機械式) と多少数値が異なる場合があります。
※キーON時のブースト指針は標高に応じて多少マイナスの表示となる場合があります。

▶ブーストリミッターカットをしている場合は正常に表示できない場合があります。

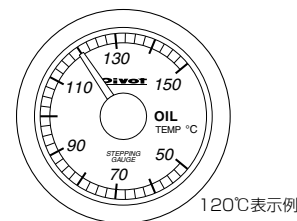
水温計

- ▶表示 20℃~120℃
- ▶用途 ●オーバーヒート ●暖機チェック など



油温計

- ▶表示 50℃~150℃
- ▶用途 ●エンジンオイルの温度チェック など

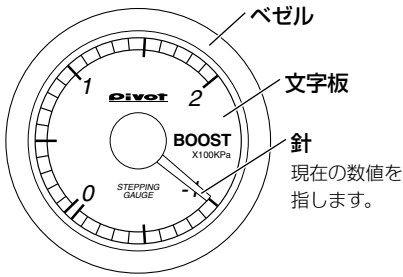


オープニングデモ

オープニングデモの針の動きはマイナス方向に小刻みに複数回動き、その後最大値を指し、各表示項目に移行します。

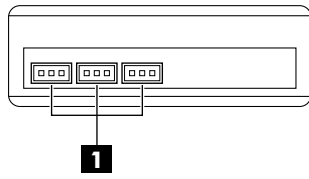
各部の名称

●メーター



●サーバー

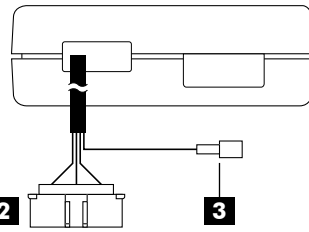
(メーター接続側)



1 メーター出力コネクタ
メーターケーブルを接続

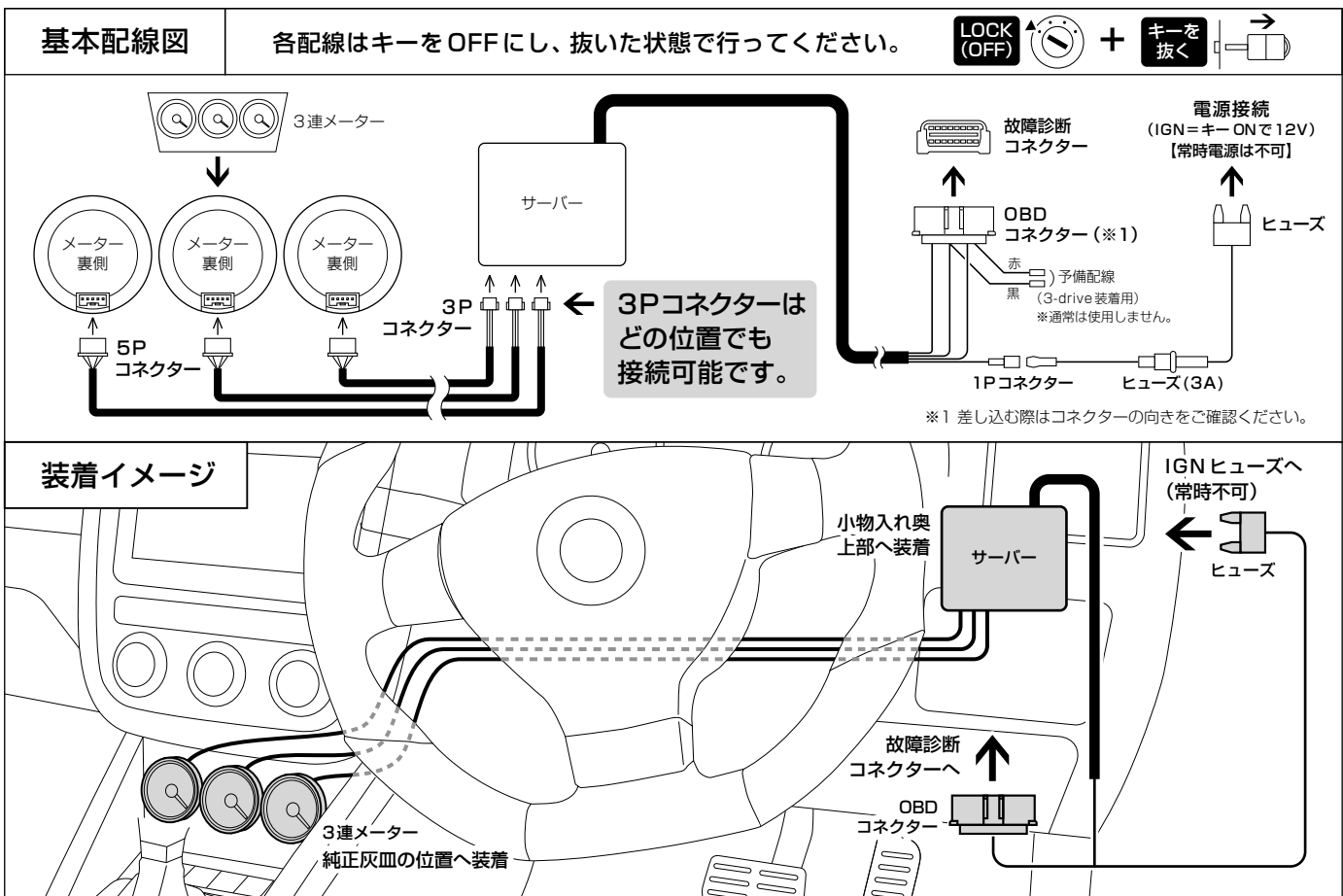
2 OBD コネクタ
通信信号を得るために接続

(車輦接続側)



3 1Pコネクタ
サーバー電源コードとヒューズ電源コードを接続

配線接続方法と固定方法



1 メーターとサーバー間の3本のケーブルの取り付け (GOLF Vの場合)

準備

- ① ハンドル下のアンダーカバー (トルクス T20 × 2) を外す。
- ② サイドブレーキをしっかり引く。
- ③ 一度キーをONにし (エンジンはかけない)、シフトをDレンジに入れ、その状態でキーをOFFにする。
(ACC状態となり、キーは抜けません。)

1 エアコンダイヤル下カバーとアッシュトレイを外す

- ① 図1・Aのカバーを下へ外す。
(GOLF VIの場合は、エアコン周りのパネル下側を少し手前に引き出して、Aのカバーを下へ外す。)
- ② 図1・Bのカバーを上側へ持ち上げ、シフトブーツを裏返すようにシフトノブにかぶせておく。(シフトノブは取り外さずに作業する)
- ③ 図1・Cのアッシュトレイ手前のネジを2箇所外す (トルクス T20 × 2)。
- ④ 図1・Cの手前側を上を持ち上げてからすべてのコネクタを外し、Cを完全に取り外す。

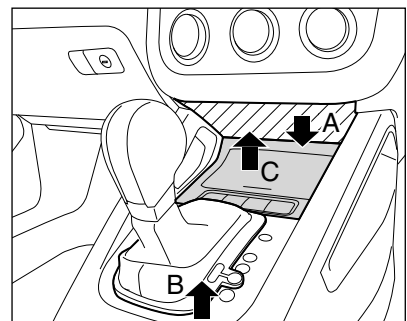


図1: 取り外すカバー等の図

2 ケーブルを引き回す

- ① 図2のようにメーターとサーバー間の3本のケーブルを通す。
・コネクター大⇒メーター側
・コネクター小⇒サーバー側
- ② ①で通したケーブルのサーバー側をコンソール内側を通しアンダーカバーの位置まで持ってくる。(図3参照)
- ③ サーバーに3本のケーブルを差す。
(差す場所はどこでもよい)
- ④ ハンドル右側の小物入れを外す。
- ⑤ 3本を接続したサーバーを小物入れ奥上部の鉄板へ付属の両面テープにて固定する。
- ⑥ 図1・Cのアッシュトレイをもとに戻す。
(ケーブルは図2のように右側へ寄せる)

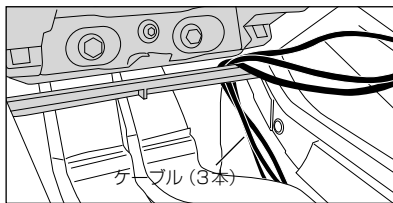


図2：図1のカバー等を外した状態

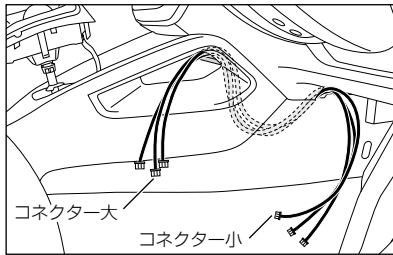
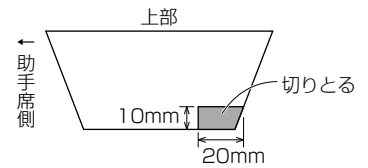


図3：ケーブルの取り回し図

3 ケーブルを通す穴を開ける

- ① ブレーキを踏み、シフトレバーをPレンジへ。
- ② キーを一度ONにし、もう一度OFF位置へ戻してからキーを抜く。
- ③ 図1・Bのカバーをもとに戻す。
- ④ メーターケーブルを通すため、Aのカバーを切りとる。(下図参照)



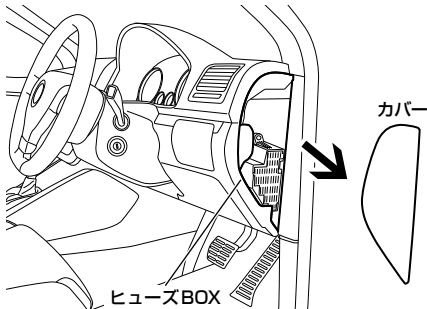
- ⑤ ④で切りとりをしたAのカバーをもとに戻す。

2 電源接続とOBDコネクター接続をする

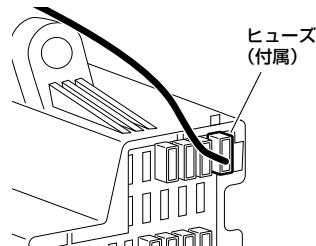
下記はGOLF V GTI BWA (右ハンドル車) でヒューズBOXへ配線する場合の一例です。その他の車種で不明な場合はディーラー等でご確認ください。

1 電源接続を行う

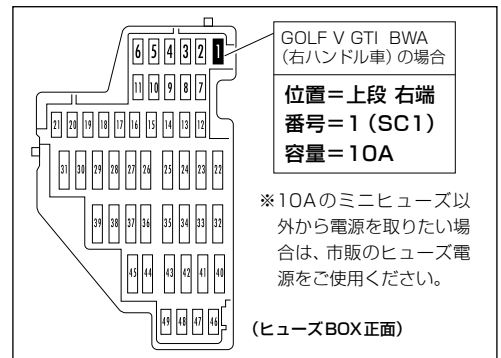
- ① 運転席右横のカバーを①ドライバーなどを使って外します。



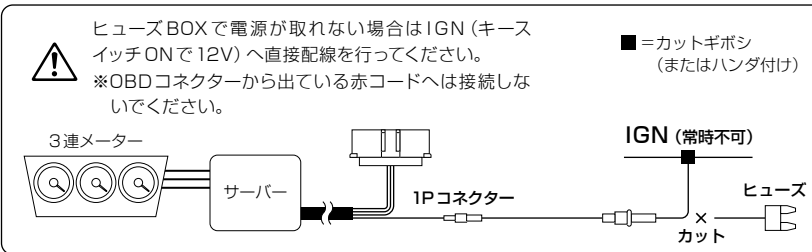
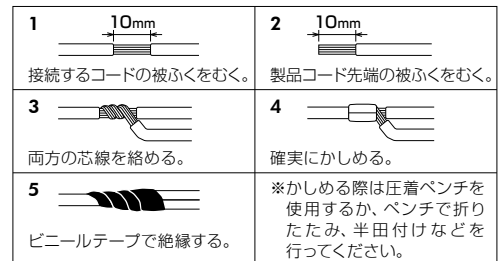
- ② ヒューズBOXのIGN 供給できるヒューズ (キー ONで12V、常時電源は不可) を抜き、付属のヒューズ電源コードをそこへ接続します。



【参考1】指定ヒューズ位置例



【参考2】カットギボシの使い方



2 OBDコネクターを接続する

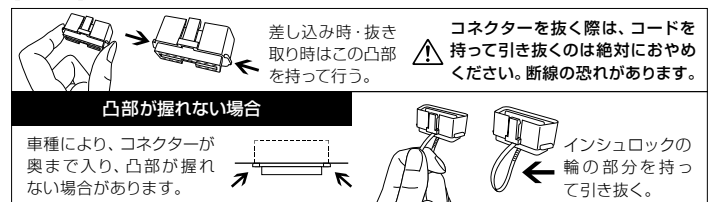
サーバーから出ているOBDコネクターを故障診断コネクターの根元まで差し込み、ヒューズ電源コードを1Pコネクターへ接続します。



3 外した部品を元に戻す

配線を傷付けないようにまとめ、運転席右横カバー、ハンドル下アンダーカバー、ハンドル右側小物入れを元に戻します。

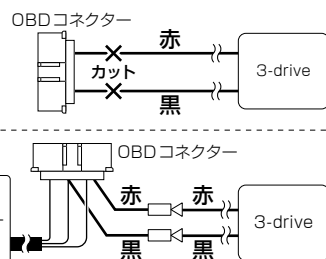
【参考3】OBDコネクターの取扱注意



！ こんなときは PIVOT 製 3-drive シリーズと併用する場合

3-drive のOBDコネクターをカットし、サーバーのコネクターから出ているコードにギボシ接続します。

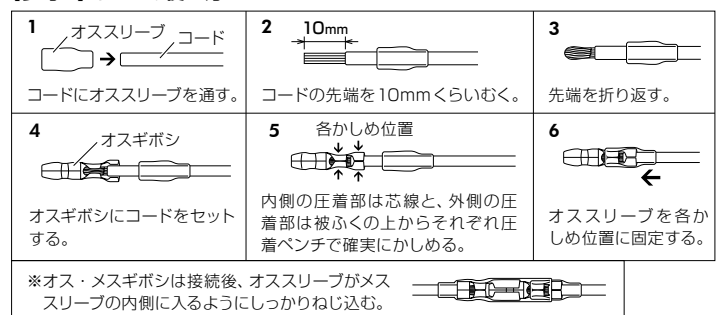
- ① 車軸側の故障診断コネクターからOBDコネクターを抜く。
- ② OBDコネクターから出ているコードを適当な位置で切断する。
- ③ 黒、赤コードにギボシを付け、確実に接続する。



⇒【参考3】ギボシの使い方

□◁ = ギボシ接続

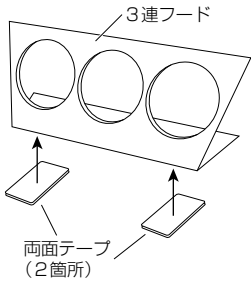
【参考4】ギボシの使い方



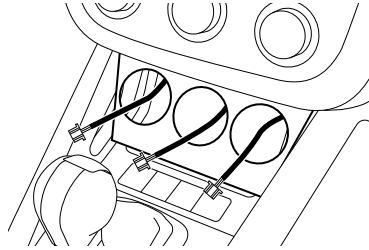
3 メーターとメーターフードを固定する

1 3連メーターフードを固定する

① 3連フード底面の両側2箇所が付属の両面テープを貼ります。



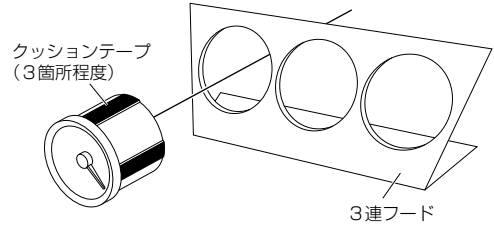
② 配線をフードの各メーター穴より出し、純正灰皿の位置へメーターフードを貼り付けます。



2 メーターを固定する

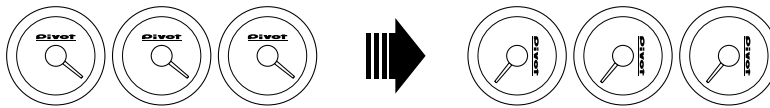
① メーターの根元に付属のクッションテープを3箇所程度貼ります。

② 各配線をメーターに差し込み、3連フードへ圧入します。



POINT

見やすい向きに調整も可能です。



基本操作方法

52X-VWの始動から停止までのメーターの基本的な動きです。

- 1 **START** キースイッチ ON (エンジン始動)
- 2 オープニングデモ (3連同時始動)
- 3 リアル表示 各メーターがリアル表示を行います。
- 4 キースイッチ OFF (エンジン停止) 針はOFF時の位置で止まります。

故障と思われるまえに

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。(3連すべて)	メーターケーブル、OBDコネクター、ヒューズ電源の接続不良。	メーターケーブル、OBDコネクター、ヒューズ電源の接続状態を確認する。
	電源を直接配線した場合の赤コードの配線間違いか接触不良。	赤コードの接続場所及び接触状態をご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車表をご確認ください。
	電源が常時電源(キー OFFでも12V)に接続されている。	電源をIGN(キー ONで12V)に切り換える。
エンジン始動で動作しない。(1つまたは2つ)	メーターとサーバー間のケーブルの接続不良。	各ケーブルの接触状態をご確認ください。
表示が純正や他のメーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正や他のメーターと誤差が生じる場合があります。	
ブースト圧表示が純正や他のメーターとズれる。	本製品のブースト計は絶対圧式で、相対圧式のメーターとは表示がズれる場合があります。	
キー ON時ブースト指針がマイナスになる。	絶対圧センサーは気圧分をマイナスして表示します。(例: 標高700m地点=マイナス8Kpa)	
キー ON時、油温表示が一度マイナス側になる。	クルマのデータ上の動作で正常です。	